

脳楽習便り

今月のワンポイント 『 伝える手段 』

失語症…「話すこと」「書くこと」が難しい → 代用手段の活用

1. 自発的にできる方法

■身振り(ジェスチャー)

～やってみましょう～

- ・お腹が痛い
- ・飲物がほしい
- ・電話が鳴ってたよ



■絵を描く

～描いてみましょう～

- ・眼鏡(メガネ)
- ・薬
- ・病院



2. 聞き手の手助けでできる方法

■YES・NOで答える

聞き手は、本人が YES・NO で答えられるよう質問します。

×:パンとご飯どっち?

○:パンでいい?



■選択する

聞き手は、単語や絵、写真を 選択肢として提示します。

(例)

珈琲 紅茶 緑茶 麦茶



今月の『脳楽習』～「香りの良い植物」より

～ 喉のトレーニング ～

あき 秋、オレンジ色の花が咲きます。
にわ 庭によく植えられる、じょうりよくしゆ 常緑樹です。



ヒント

- ① きんもくせい 金木犀
- ② じんちょうげ 沈丁花
- ③ クチナシ

1. のどトレーニング (5回)



のど仏を触りつつ、唾液を「ごっくん」。

「ごっくん」の「く」で、のど仏が上がる。

「く」と、上がった位置で、2秒間息を止める。

「ん」と、息を吐く。